

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	食品開発科学科			
科目名称	英語Ⅱ						授業形態	演習		
科目コード	141800	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	水島 孝司								ICT活用	
授業概要	この授業では、TOEICテストの初級・中級者向けであるTOEIC Bridgeテストの特徴、出題形式を理解し、スコアアップに必要な英語運用能力を身につけることを目的とする。TOEIC Bridgeテストで55～60点を目指す上で基礎となる文法、語彙、リスニングを中心に学ぶ。									
関連する科目	英語Ⅰ									
授業の方法と進め方	・ 授業は教科書に沿って進めるので、事前に該当のユニットを予習しておくこと。 ・ 原則として、1回の授業で1つのユニットをこなす。 ・ 第3回から第14回までは、毎回の授業で小テスト（単語・文法）を実施する。 ・ 授業のはじめに、トレーニングのコツ（Training Tips）を説明し、その後、問題を解き、解説をする。 ・ ペアワーク、グループワークで復習の成果（Training Tips）などを確認するので、積極的に参加してほしい。									
第1回	オリエンテーション（授業の概要、評価方法、教科書を使った予習のしかたなどについての説明）									
第2回	Unit 1 L: 身の回りの物・場所の名称 R: 同一品詞の語彙問題（動詞）									
第3回	Unit 2 L: wh疑問文への応答 R: トピックの類推									
第4回	Unit 3 L: 語句からの状況判断(1) R: 派生語（動詞・形容詞・名詞）									
第5回	Unit 4 L: yes/no疑問文への応答 R: 同一品詞の語彙問題（名詞）									
第6回	Unit 5 L: 人物の動作表現 R: スキャニング(1)									
第7回	Unit 6 L: 会話表現からの状況判断(1) R: 正しい語形の選択（動詞）									
第8回	Unit 7 L: 選択・付加疑問文への応答 R: 同一品詞の語彙問題（形容詞・副詞）									
第9回	Unit 8 L: 日時・数量の聞き取り R: スキミング(1)									
第10回	Unit 9 L: 人物や物の状態表現 R: 正しい語形の選択（形容詞・副詞）									
第11回	Unit 10 L: 発言に対する自然な応答 R: 同一品詞の語彙問題（前置詞）									
第12回	Unit 11 L: 語句からの状況判断(2) R: 英語の語順での読解									
第13回	Unit 12 L: 否定疑問文に対する応答(1) R: 正しい語形の選択（不定詞・動名詞・分詞）									
第14回	Unit 13 L: 位置関係を表す表現 R: スキャニング(2)									
第15回	TOEIC Bridge テスト受験									
授業の達成目標	①TOEIC Bridge®テスト55～60点を取得するのに必要な英語運用能力を身につける。【汎用的技能】 ②リスニング、およびリーディングの出題傾向についての理解を深め、問題を解くスピードを上げることができる。【汎用的技能】 ③自律的かつ継続的に学習する習慣を身につける。【態度・志向性】									

学位授与方針(DP)との関連	3.人間力、社会性、国際性の涵養－(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(4)
授業時間外学習【予習】	・指定範囲の単語・英文を覚えて、小テストに備える。（60分程度）
授業時間外学【復習】	・新しく習った単語・文法を復習し、確認する。（30分程度） ・「実践練習」で正解できなかった問題を再度解く。（30分程度） ・「Training Tips」にある単語や英文を、できるだけ発音をまねてリピートする。（15分程度）
課題に対するフィードバック	小テストの採点結果返却は翌週の授業時間において行う。
評価方法・基準	授業中の活動への参加度(30点)、期末試験（20%）、小テスト（30%）、スピーキングテスト（10点）、TOEIC Bridgeテストのスコアの伸び（10%）
テキスト	「TOEIC Bridgeで学ぶ大学基礎英語」（高山芳樹著、南雲堂） ISBN: 978-4-523-17694-7
参考書	「TOEIC Bridge公式ガイドブック」（国際ビジネスコミュニケーション協会編著、2019年） その他、随時、授業で紹介する。
備考	